

議会だより たのはた

No.
132
2022.8.10
岩手県田野畑村議会

6 月定例会

- 2 第3回定例会議案を紹介
- 4 ここが聞きたい！一般質問
- 8 みんなのスマイル

北山崎断崖クルーズ観光船のスタッフのみなさん。観光船前にて。

第3回定例会が、6月10日から6月14日までの会期で開かれました。村長提案の報告5件、承認3件、議案3件は原案どおり可決、承認。追加で、発議案1件を可決しました。一般質問は2人の議員が登壇し、村の姿勢を質問しました。



田野畑産品を主原料に用いて商品を作ることを目的とする地域の加工場で加工した「たのはたおやき」

議決した主な議案など

- 繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度一般会計予算)
 - 令和3年度に計上した予算で、財政管理費ほか29事業の繰越総額1億2402万3千円を4年度に繰り越すもの。
- 繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度簡易水道特別会計予算)
 - 令和3年度に計上した予算で、企業会計導入事業の繰越総額862万4千円を4年度に繰り越すもの。
- 繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度集落排水特別会計予算)
 - 令和3年度に計上した予算で、企業会計導入事業の繰越総額160万6千円を4年度に繰り越すもの。
- 繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度一般会計予算)
 - 令和3年度に計上した予算で、企業会計導入事業ほか1事業の繰越総額101万2千円を4年度に繰り越すもの。
- 事故繰越し繰越計算書の報告について(令和3年度一般会計予算)
 - 令和3年度に計上した予算で、企業会計導入事業ほか1事業の繰越総額101万2千円を4年度に繰り越すもの。

算

令和3年度に計上した予算で、地域の加工場整備事業(R2明許)ほか1事業の繰越総額1億7581万8700円を4年度に繰り越すもの。

●専決処分した事件の承認について(田野畑村村税条例の一部を改正する条例)

地方税法等の一部を改正する法律などが令和4年3月31日に公布され、同年4月1日に施行されたことに伴い、田野畑村村税条例の一部を改正し、所要の措置を講じるもの。

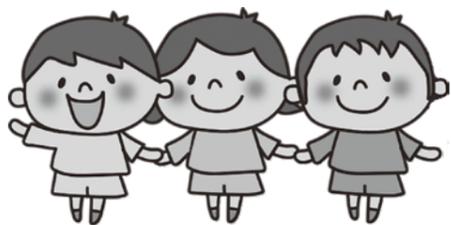
●専決処分した事件の承認について(令和3年度一般会計補正予算(第8号))

800万円を追加し、総額を43億3172万7千円とするもの。内容は次のとおり。
 ・道路維持事業(道路除排雪など業務委託料)：800万円

補正予算

●令和4年度一般会計補正予算(第1号)
 1億1807万7千円を追加し、総額を34億9833万円とするもの。主な内容は次のとおり。
 ・観光費(修繕費、補助金)：

認定こども園施設設計委託料



若桐保育園およびたのはた児童館を統合し、たのはた児童館の施設を認定こども園にするため、改修するものです。
 0歳から2歳児クラスの設備が新たに必要となるため、部屋やトイレなどを改修します。

・認定こども園施設設計委託料：946万円

産業開発公社経営強化支援補助金

営業強化、IT関係の強化、執務環境の強化のため、補助するものです。具体的には販路拡大の営業強化費として、営業するための出張旅費、PRにあつたつてのパンフレット、チラシなどの製作費。営業力向上のため、セミナーなどへの参加費、営業のための研修費。また、職員の業務体制の効率化、会計システムなどの情報通信技術(ICT)機器の導入整備費です。
 ・田野畑村産業開発公社経営強化支援補助金：500万円



村産業開発公社の「たのはたヨーグルトセット」

議案 Pick up

こんなことが決まりました

Pick up 2

一般会計補正予算

- 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
 13万5千円を追加し、総額を5億3552万8千円とするもの。主な内容は次のとおり。
 ・介護保険システム改修委託料：33万円

Pick up 1

一般会計補正予算

- 2397万円
 ・住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金：1353万4千円
 ・ラジオ中継局設備更新事業(委託料)：700万円
 ・プレミアム付商品券発行事業(委託料)：600万円
 ・経営発展支援事業交付金：600万円
- 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 【事業勘定】208万4千円を追加し、総額を5億9039万2千円とするもの。
 【直営診療施設勘定】214万6千円を減額し、総額を1億1390万5千円とするもの。主な内容は次のとおり。
 ・負担金(介護納付金分)：130万9千円
 ・修繕費(洋式トイレ、浴室換気扇排煙設備)：68万9千円
 ・備品購入費(血液凝固分析装置)：10万4千円

公社に対する長期貸付の職員説明は

村長 --- 幹部職員に対し公社設立の原点に立ち戻り職員一丸となり業務するよう指示した



上山 明美議員

【問】産業開発公社に対する長期貸付について、理事長でもある村長は、職員に対してどのような説明をしたのか。

【村長】 3月定例会後、公社の幹部職員に対し、公社設立の原点に立ち戻り、職員一丸となって、しっかりと業務を行うよう指示した。

これは、貸付内容と返還計画に加え、村も厳しい財政状況の中で貸し付けを決定したことを踏まえたものである。

【問】小中学生の性教育について、現在、誰が、どのような教材を使い、どのような方法で性教育を行っているか。

【教育長】 主に担任や教科担任、養護教諭が文部科学省で定められた学習指導要領に基づき実施。児童・生徒の発達段階に応じて作成された計画に沿って、教科書や指導資料などで、学校の教育活動全体を通じて行われている。

保健体育の授業では、教科担任や養護教諭がそれぞれ、時には共同で保健分野の教科書や指導資料などで指導。学級活動の授業では、同様に指導資料や教師自作資料などで指導している。

具体的には、小学校では「おへそのひみつ」や「男女の体のちがひ」など。中学校では、「生命の誕生と命の尊さ」や「思春期の性」などを学習している。

また、道徳や理科（生活科）、家庭科、社会科などでも、「自他の生命の尊重」などを学習している。

地域の加工場を含めた事業計画は

村長 --- すでに「たのはたおやき」を販売し、今後も新商品を開発する予定



中村 勝明議員

【問】議員全員協議会（6月2日）の村長あいさつで「村内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生」と述べた。詳細を示されたい。

【村長】 5月12日に寿生会のホームページで、同日特別養護老人ホーム寿生苑の職員1名が新型コロナウイルス感染症に感染したことが自主公表された。同施設では、その後、入居者や職員の感染者が5名以上となり、県からクラスターと判断された。6月8日の最新の情報では、感染者は入居者16名、職員7名の計23名。うち療養解除者は入居者14名、職員7名である。

寿生会は、宮古保健所の指導のもと、感染拡大防止に最大限努力していると承知している。

【問】①旧・思惟の大橋産直組合、旧・尾肝要産直組合の出品状況②これから出品希望があった場合の対応③思惟の風全体の収支状況④地域の加工場を含めた事業計画と収支予測を伺う。

【村長】 ①会員数は73名。思惟大橋利用組合から55名、尾肝要利用組合から8名が加入。10名の新規加入もあった。出品状況は山菜や野菜類、海産物、加工食品など多種多様な商品が出品。

②随時受け付けていると伺っている。

③売り上げは、産直を含む道の駅全体が1億3700万円余、法人は9600万円余。全体的な収支はおおむね良好な業績と伺っている。

④地域の加工場で、すでに田野畑産のワカメやシイタケを使った「たのはたおやき」を販売。今後も新商品を開発する予定と伺っている。

収支計画は、1年目の成果と課題を踏まえ、客単価の向上やコスト削減を図り、黒字運営を達成する計画と伺っている。

次のページは

ここが聞きたい！ 一般質問

質問者	質問項目
上山 明美	<ul style="list-style-type: none"> ◆公社に対する長期貸付について、職員に対する説明 ◆小中学生の性教育 <p>(その他の質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 ・ヤングケアラーや生理の貧困の実態把握 ほか5件
中村 勝明	<ul style="list-style-type: none"> ◆議員全員協議会の村長あいさつで「村内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生」と述べたが、それについての詳細 ◆産業振興対策について <ul style="list-style-type: none"> ・旧・思惟の大橋産直組合、旧・尾肝要産直組合の出品状況 ・これから出品希望があった場合の対応 ・思惟の風全体の収支状況 ・地域の加工場を含めた事業計画と収支予測 <p>(その他の質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画に定住対策促進事業として「住宅修繕の補助など」が計画されている。平成22年度から実施している「住宅改修事業費補助金」の延長か。これまでの利活用を含めて示されたい ・福島第一原発汚染水の海洋放出について、その後の経過と今後の見通し。村長として「断固反対」の態度に変化はないか ほか3件

(一般質問のうち、各議員2項目を抜粋し掲載しております。)

「一般質問」ってなあに？



村の仕事全体に関することや、日頃考える地域の課題などについて、なんでも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

なお、国や県の仕事や課題については、国会や県議会でも話し合われます。

・持ち時間は1時間
田野畑村議会では、議員1人につき、1時間以内の持ち時間を設定しています。

その中で、質問と村長からの答弁、再質問とそれに対する答弁を行います。

・事前通告
質問したい議員は、あらかじめ質問内容を文書で通告しておくことになっています。

・登壇順（質問順）
通告書を受け付けた順番に、議長のご許可を得て登壇します。

村内行政視察を実施



島の沢川河川改修工事の完成状況を視察

村議会政務調査会と令和元年台風19号災害復興特別委員会、さらに村監査委員は合同で、6月2日に村内の行政視察を工事現場監査を兼ねて実施しました。

これは、「村道鉄山線道路災害復旧工事」や「村道田野畑インター菅窪線外道路舗装他修繕工事」など、令和3年度に実施した工事の現地確認を行ったものです。



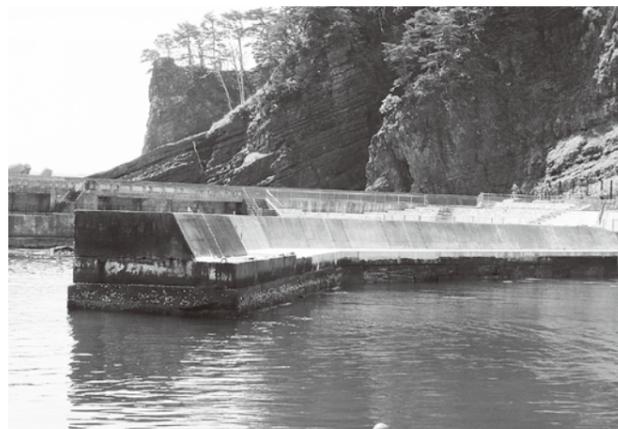
村道明戸北山線道路災害復旧工事の状況を視察



田代地区消防屯所の耐震化整備工事について説明を受ける様子



地域の加工場整備工事の説明を受ける様子



平井賀漁港東防波堤修繕工事の完成写真(車中から視察)

6月定例会で決まったこと

議案等番号	議案名等	審議結果
報告第1号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度田野畑村一般会計予算)	報告
報告第2号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度田野畑村簡易水道特別会計予算)	報告
報告第3号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度田野畑村集落排水特別会計予算)	報告
報告第4号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和3年度田野畑村下水道特別会計予算)	報告
報告第5号	事故繰越し繰越計算書の報告について(令和3年度田野畑村一般会計予算)	報告
承認第1号	専決処分した事件の承認について(田野畑村村税条例の一部を改正する条例)	承認
承認第2号	専決処分した事件の承認について(令和3年度田野畑村一般会計補正予算(第8号))	承認
承認第3号	専決処分した事件の承認について(令和3年度田野畑村一般会計補正予算(第9号))	承認
議案第1号	令和4年度田野畑村一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第2号	令和4年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第3号	令和4年度田野畑村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
発議案第1号	令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書について	可決

議員発議による意見書

●令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書について

- ・提出者 佐々木芳利
- ・賛成者 小松山久男、中村芳正

国から令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しが表示されている。

特に、交付対象水田の扱いの大きな見直しは、生産現場では農地の集積・集約に取り組みながら、産地づくりに取り組んできた中で、交付対象から除外される農地が出ることにより農地の維持が困難となり、耕作放棄地の増加につながるなど懸念の声があがっている。

これに対し、将来にわたって安定的な営農・農地の維持が展望できるように、現場の課題を十分に検証し、制度設計がされるよう意見書を国などに提出することについて、議員発議し、原案のとおり可決しました。

意見書は、衆、参両院議長、関係大臣へ提出しました。

みんなのスマイル😊



とおる
佐々木 太さん
(切牛 70歳)

◆村の好きなところは

人情味があるところ。海産物、畑、山海があつて、物々交換の互助に結びついて、生活にもつながっているところです。

◆趣味は

海釣りです。カレイ釣りで、いい時には100匹位。平均30匹位は釣ってます。

退職後から、家庭菜園で産直に出しています。地区の人たちとの交流が楽しいです。売れると認められた達成感もあり、「おいしかった」と言われるのが嬉しいですね。

◆村や議会に期待することは

村民目線でお願ひしたいです。行政当局と議会の両輪で、村の発展のためにやっていただきたいです。

◆スマイルや元気のもと

黒にんにくです。食べ続けて10年。疲れのを忘れて、稼いでいます。

町村議会夏季議員大学講座



講義を受ける各議員

7月28日から29日に、町村議会夏季議員大学講座が、盛岡市の岩手県自治会館で開催され、本村議会からは3人の議員が参加しました。

本年度は、「いま求められる地方議会のあり方」「地域づくりはつながりづくり若者たちとの実践から」「地方公営企業を巡る政策対応と実践課題」「今後の食糧情勢と日本農業の課題」「日本経済の成長と分配は果たせるか」の講義が行われました。

議会を傍聴 しませんか

次の定例会は、
**9月上旬に
開会予定**です。

編集
後記

生きていると「まさか、こんな事が」という出来事に出くわします。あまり出会いたくない「まさか、こんな事が」ですが、ここ数年、頻発しているように感じます。

11年前の東日本大震災。なかなか収束しないコロナ禍。そして、ロシアのウクライナへの侵攻。どれも、まさか、こんな事が本当に起こるなんてでした。

いつ身近で起こるか分からない、まさかの出来事。デマやフェイク記事に惑わされる事なく、正しい判断をして、落ち着いて対処できるようにしたいものです。

(広報公聴常任委員会

委員 上山 明美)